

幼稚園における幼児教育環境の整備

区教育委員会では、昨年度から「区立幼稚園のあり方の見直し」を検討し、3月にその方針素案を公表しました。その中でも預かり保育や3年保育の対応も課題として捉え、地域説明会を開催し、区民の皆様からご意見・ご要望をお受けしてきました。

「区立幼稚園のあり方の見直しの方針(素案)」の骨子として、預かり保育につきましては、27年度は試行、28年度から段階的に実施することとしています。3年保育につきましては、3歳児学級の新設と3歳児学級の定員拡大です。

記

1 幼稚園の預かり保育への対応

- ① 幼稚園における預かり保育需要に対応し、区内私立幼稚園における預かり保育の受け入れ枠のさらなる拡大を図るため、私立幼稚園に対する預かり保育推進補助金を拡充します。具体的には、預かり保育の実施日数や実施時間の補助金区分を細分化し、私立幼稚園の預かり保育の実施日数等の拡大に応じて補助金交付額を増額していきます。
- ② さらに、平成27年9月から区立市谷幼稚園及び区立西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度の区立幼稚園における預かり保育については、今年度試行する区立市谷幼稚園及び区立西戸山幼稚園に数園を加え実施いたします。その後、地域バランスを踏まえて、段階的に実施園を拡大していきます。
※上記①②に要する経費については、区議会第二回定例会に補正予算を計上し可決されました。

2 幼稚園の3年保育への対応

平成28年度から、現在運営している区立幼稚園全園で3年保育を実施していきます。

そのため、新たに津久戸幼稚園、早稲田幼稚園及び余丁町幼稚園では、新たに3年保育を開始します。定員は20人とします。さらに、現在3年保育を実施している区立幼稚園全11園の3歳児学級の定員を17人から20人に拡大し、3年保育に対するニーズに対応していきます。